

## 部活動の段階的・地域移行について

保護者の皆様には、行方市の教育行政に対して、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、標記の件につきまして、2月16日（金）に開催された「第2回行方市部活動地域移行検討委員会」における委員・専門家より頂戴したご意見について、下記のとおり、お知らせいたします。引き続き、「部活動の段階的な地域移行」について、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 記

#### 1 部活動の地域移行の目的についての再確認（文部科学省通知文からの抜粋）

- (1) 少子化の中でも将来にわたり、我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保する。
- (2) 競技経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日も含めた運動部活動の指導が求められるなど、教師にとっての大きな業務負担を軽減する。
- (3) 地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保する。（スポーツ団体等の組織化、指導者や施設の確保、複数種目等の活動も提供）

#### 2 行方市部活動地域移行委員会委員の皆様からの主なご質問・ご意見

##### Q 地域移行の時期について

→ 国・県が示しているとおり、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指します。

##### Q アンケートにあるように「体力・技術を向上したい、よい成績を収めたい、楽しく活動したい」という児童生徒保護者の思いや考えについて

→ 勝利至上主義過多な活動から脱却し多様な活動機会、運動に親しむ態度、体力・技術の向上が図られるよう活動目的を明確にし幅広く、指導者を募っていくことを目指していきます。また、そのための支援を国や県に要望していきます。

##### Q 公認指導者資格取得や更新に係る費用負担等について

→ 費用負担、保険加入等については、今後、本検討委員会にて検討していきます。

##### Q 行方市の部活動地域移行のパターンについて

→ 多くの委員からご賛同いただいたとおり、地域・各中学校現状に基づき、学校へ地域の指導者が参画したり、人数が不足している部活動については合同部活動を検討し、合同部活動に地域の指導者が参画したりするなど、実情に応じた多様な地域移行パターンを検討します。

##### Q 指導者について

→ 行方市のスポーツ推進委員、スポーツ協会、スポーツ少年団、なめがたふれあいスポーツクラブ、文化協会、地域の方々、保護者の皆様に対して、予備的な調査を実施しスポーツ経験者、指導経験者、公認スポーツ指導者有資格等の実態把握をします。

##### 【その他のご意見】

- 段階的な部活動の地域移行は、指導者と学校との連携強化が重要である。
- 学校が中心的に担っていた部活動を地域社会で子どもの健全育成を図るという共通イメージをもつことが重要である。

#### 3 専門家からの主な指導・助言内容

- ・ 部活動種目の実態に応じて、中長期的なスパンで段階的に地域移行すること
- ・ スポーツ以外の習い事における保護者負担について調査すること
- ・ 部活動の地域移行に係る運営主体（事務局）を検討すること
- ・ 地域移行する部活動の種目は現在、中学校にある部活動以外にも可能なのか検討すること。